ブエナビスタ、レッドディザイアで鉄板となるかどうか？

やっと、5月らしい、初夏の快晴の週末がやってきた。そして、ブエナビスタ、レッドディザイアという世界でも通用する牝馬2強の対決。明日のヴィクトリアマイルは、見るだけでも楽しいレースになるだろう。緑が揺れ、風光る東京コースで、この2頭はどんなレースをするだろうか？

桜舞う桜花賞、梅雨のなかの宝塚記念、菊薫る菊花賞、秋晴れのジャパンカップ、寒風吹きすさぶ有馬記念……日本の競馬は、季節の移り変わりのなかで楽しむものだ。若いときはレースや馬券に熱中して、季節を楽しむ余裕などなかったが、いまはレースよりもむしろ季節感を楽しむようになった。

といっても、グローバルで人や馬も移動するこの時代、季節は移リ変わるものではなくなった。冬の日本が嫌なら、真夏のオーストラリア、ブラジル、一年中夏のハワイや東南アジアのリゾートがある。夏にスキーや雪景色を楽しみたければ、カナダでもアラスカにでも出かければいい。この21世紀、季節は選べるものに変わってしまった。

人間がそうなら馬もそうだ。ブエナビスタ、レッドディザイアは、ついこの間、熱帯夜のドバイで走った。だから、日本に戻ってきて初夏の風に吹かれれば、日本にずっといた馬たちより、ずっと爽快に感じるはずだ。

なのに、「ドバイから帰国初戦の2強にスキあり！」という予想が多い。馬券しか興味のないファンには、2強決着ではつまらないので、死角探しに熱中するのはわかる。しかし、どう

見てもブエナビスタ、レッドディザイアは強い。この後に宝塚記念に共に出走するというが、梅雨の雨にたたられなければ、そこでも好勝負は間違いないだろう。


昨年の有馬記念パドックでのブエナビスタ

　となると、今回は、この2頭を買うか、あるいは2頭とも買わないかの2択しかない。
　この欄のテーマは、いかに美しく馬券を外すかにあるので、当然、この買い方しかない。で、もっとも美しく外すとなると、やはり、この2頭を買うべきだ。3連単にして、2頭の1、2着組み合わせでアタマを固定し、3着は総流しにする。

　当たってしまう可能性がもっとも高い馬券を買って外れる。そうして、競馬を予想することがいかに虚しいかを証明する。これが、私が追求してきたテーマの1つだ。さて、今回はどうなるか？
　牝馬限定G1で、直線が長く力を存分に発揮できる東京の1600メートル。ここで、この2頭のどちらかでも来なかった場合、あるいあは2頭とも来なかった場合、「調子落ち」「ドバイ疲れ」などとメディアは書くだろう。
　2年前のヴィクトリアマイルでウオッカが2着に負けたときも「ドバイ帰りの影響」とメディアは書いた。でも、去年は圧勝

だった。はたして、結果は？

第5回 ヴィクトリアマイル（5月16日）

1　1　ベストロケーション----------
牝5　55.0　木幡初広　鹿戸雄一
1　2　ヒカルアマランサス---------- 牝4　55.0　内田博幸　池江泰郎
2　3　ラドラーダ---------- 牝4　55.0　安藤勝己　藤沢和雄
2　4　ウェディングフジコ---------- 牝6　55.0　吉田隼人　戸田博文
3　5　アルコセニョーラ---------- 牝6　55.0　武士沢友治　畠山重則
3　6　シセイカグヤ---------- 牝4　55.0　丸田恭介　宗像義忠
4　7　ミクロコスモス---------- 牝4　55.0　福永祐一　角居勝彦
4　8　ヤマニンエマイユ---------- 牝7　55.0　吉田豊　浅見秀一
5　9　ブロードストリート---------- 牝4　55.0　藤田伸二　藤原英昭
5　10　ニシノブルームーン--------- 牝6　55.0　北村宏司　鈴木伸尋
6　11　ブエナビスタ ---------- 牝4　55.0　横山典弘　松田博資
6　12　ブラボーデイジー---------- 牝5　55.0　北村友一　音無秀孝
7　13　ワンカラット---------- 牝4　55.0　藤岡佑介　藤岡健一

7　14　コロンバスサークル---------- 牝4　55.0
蛯名正義　小島太
7　15　アイアムカミノマゴ---------- 牝4　55.0
秋山真一郎　長浜博之
8　16　ムードインディゴ---------- 牝5　55.0
上村洋行　友道康夫
8　17　レッドディザイア---------- 牝4　55.0
四位洋文　松永幹夫
8　18　プロヴィナージュ---------- 牝5
55.0　佐藤哲三　小島茂之